

News Letter

2024年

8月

中国四国農政局
愛媛県拠点

廃校の危機を救った「水族館部」 全国から入学希望者が殺到！

大洲市にある県立長浜高等学校は、全国で唯一の部活動「水族館部」がある高校です。生徒数の減少により、一時は廃校の危機に直面していた同校ですが、令和4年度に生徒の全国募集を本格化すると、そのユニークさが注目を浴び、一転入学希望者が殺到し活動スペースが不足するほどの人気ぶりです。また、急増した生徒の寮整備のため、市や地元企業も連携して市内の空き家を確保するなど、地域ぐるみで同校を盛り上げています。



瀬戸内海に隣接する長浜高校



カクレクマノミの研究が世界4位を受賞！

今年度は新入生59名（うち21名が東京、沖縄等県外から）が入学。全校生徒の約6割の95名が同部に在籍しています。

校内の教室や中庭だけでは手狭になったため、令和6年4月に学校に隣接する市の長浜保健センター内に水族館を移転し、リニューアルオープンしました。

また、同部員だけでなく、家庭クラブのワークショップや美術部による装飾、商業部で作った地元のフルーツを使用したクッキーの販売、吹奏楽部による演奏など、全ての生徒が水族館を支えています。



リニューアルした長浜高校水族館



長浜高校近くの磯場での環境教育

現在、水族館では約150種2,000匹の生物を飼育しています。また、海洋生物を対象とした研究では、カクレクマノミがイソギンチャクに刺されないメカニズムを利用し海洋生物との共存を目指した「クラゲ予防クリーム」の開発と商品化に成功しました。販売で得た資金を活用し、同校や町の活性化に役立っています。

水族館の一般公開は毎月第3土曜の午前11時～午後3時に実施され、完全予約制で1週間前の午前8時から同校ホームページで受け付けています。（現在、予約開始5分後には受付が終了するほど大人気の水族館です。）

訪れる人も魚も大切に作る生徒手作りの水族館を皆様も訪れてみてはいかがでしょうか。



長浜高校水族館部の皆さん

月1回の一般公開日を設けており、多い年には約1万人が訪れています。同校の注目度の高い取組が地元へ広がり、まちづくりの要になっています。同部の活動目的は、同校と地域の活性化と、来訪者に環境教育の場の提供とです。

水族館が注目され、県内外からの入学希望者や来訪者が増加していくことで、同校が地域の中核的存在となって地域の経済が盛り上がり、更に教育の場が拡大するという循環サイクルが形成されています。



「カクレクマノミ」に夢中の来館者



自然と共存した「クラゲ予防クリーム」と開発に携わった生徒達

長浜高校ホームページはコチラ！

<https://ehm-nagahama-h.esnet.ed.jp/>

(写真提供：県立長浜高等学校)

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177(代)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>

農林水産省